

# 福岡北九州高速道路公社

50 YEARS' HISTORY

50

年史



## 50周年を迎えて

理事長

喜安 和秀



福岡北九州高速道路公社は、福岡・北九州の両都市圏における都市高速道路の建設、管理を目的として、福岡県、福岡市及び北九州市により、昭和46(1971)年11月に設立されました。令和3(2021)年は設立から50周年の節目の年となりました。

また、福岡高速、北九州高速は、昭和55(1980)年10月にそれぞれ最初の供用を行ってから、令和2(2020)年に開通40周年を迎えました。

この間、令和3年3月に供用した福岡高速アイランドシティ線を含め、都市高速は福岡、北九州あわせて延長108.8kmのネットワークに成長し、両都市圏の道路網の骨格として、市街地部の交通渋滞を緩和し、道路交通の円滑化に寄与しています。また、九州自動車道など広域的な高速道路ネットワークとも接続し、都市圏内外の人とモノの交流拡大を通じて地域経済の発展や生活の向上に大きな効果をもたらしています。

これまで、都市高速をご利用いただいた約29億台のお客様をはじめ県民・市民の皆様のご理解とご支援に、心より感謝申し上げます。

公社はこれまで10年を節目として年史を刊行していますが、50周年を迎えるにあたり、あらためて公社の50年のあゆみを俯瞰するとともに、40年史刊行以降の新たな出来事、取り組みを記録する50年史を刊行することとしました。

50年史の編集にあたり、これまで刊行された年史を読み返しましたが、環境問題やインフレーションなど事業や経営を取り巻く厳しい社会状況のもと、幾多の困難を乗り越えながら、今日の公社、そして福岡・北九州高速ネットワークを築き上げてきた先輩方の熱意と努力ならびに関係者の皆様の多大なご支援とご協力にあらためて頭の下がる思いであり、深く感謝申し上げます。

今回の50年史の刊行にあたっては、建設の取り組みに加え、管理延長や交通量の増加、さらには道路の老朽化や災害発生などの背景も踏まえ、道路の維持管理や老朽化対策、災害対策などについても記述を充実するように努めました。また公社のコンプライアンス確保の取り組みや新型コロナウイルス感染症対策を含めた危機管理の取り組みについても記述しています。公社の取り組みのご理解の一助になれば幸いです。

福岡高速では令和3年7月に3号線(空港線)延伸事業に着手したところであり、事業の推進に取り組んでいます。また、現在北九州市が整備を行っている戸畑枝光線について、令和4(2022)年3月に北九州市から「有料化に向けた手続きを進める」との方針が示されたところであり、公社としても都市計画変更手続き等を踏まえ、早期の事業着手を目指して手続きを進めてまいります。

一方、第1次供用から40年が経過した現在、福岡・北九州高速ともに、橋梁など構造物や施設の老朽化が進展しつつあり、道路を健全な状態に保つための集中的な対策を進めていく必要があります。福岡高速では平成24(2012)年から老朽化・予防保全対策工事を進めているところであり、北九州高速でも令和4年度から大規模修繕工事を進めていくこととしています。

皆様方のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

公社は「お客様第一・社会的責任・安定した経営」の経営理念のもと、この50周年を新たな出発点として、安全・安心・円滑な質の高い都市高速道路サービスの提供に努め、お客様の豊かな未来と地域社会の発展に貢献してまいります。

## 50周年を祝って －公社在職時のこと－

前理事長

山中 義之



福岡北九州高速道路公社が設立50周年を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。福岡・北九州両都市圏において、今や必要欠くべからざるインフラとなった都市高速道路に今までかかわって来られた皆様に敬意を表し、心より感謝を申し上げたいと思います。

私が公社に理事長として着任したのは平成25(2013)年11月でしたが、その頃公社は料金収受員の飲酒問題で大揺れに揺れていました。お客様の信頼を取り戻すべく、6回に及ぶ第三者委員会を経て平成26(2014)年4月に公社としての取り組み方針を取りまとめ公表しました。委員会の運営や取り組み方針の取りまとめには多くの役職員の皆さんにかかわっていただきました。

飲酒問題に取り組む中で、公社の抱える問題点がいくつも見えてきたのはよかったのではないかと考えています。問題解決の一助になればと思い、公社の経営理念の再整理からスタートし、今後進むべき道筋としての中長期的な目標を定め、近年中に実施すべき施策を中期重点施策として取りまとめました。また、公社の組織・職員構成・人事の問題、役職員間の意思疎通(いわゆる風通し)の問題にも取り組むことができました。役職員の皆様にはこれらの取り組みに多くの時間を割いていただき、取りまとめにご尽力いただきました。

道路の維持管理は公社の重要な仕事であることは言うまでもありませんが、平成26年度からは全国の道路構造物について5年に一度の近接目視点検を基本とすることとなりました。インフラ全体が、いよいよ管理に重点を置く時代を迎えたのだと理解しました。毎日20数万台の自動車にご利用いただいている延長約百kmの都市高速道路を、安全に健全に保っていくことが公社の使命です。また、日々の維持管理だけでなく、道路の老朽化対策として予防保全的な補修を計画的に進めていくことも必要でした。保全担当の役職員の皆さんは24時間気が抜けない日々が続いていたと思

いますが、突発的な事案にも粘り強く対応していただくとともに、今後の維持管理や老朽化対策の計画に道筋をつけていただきました。

平成30(2018)年7月には豪雨によって北九州高速が大規模に被災しました。九州自動車道など九州と本州を結ぶ幹線道路も軒並み被災したために、特に物流に大きな影響が出る事態となりました。九州道の復旧に時間を要することが予想されたため、北九州高速には早期開通が求められました。現場での不眠不休の復旧作業の結果、被災から5日目に全線で交通開放することができ、利用者の皆様からも感謝の言葉が届きました。また、復旧にあたっては災害復旧のための国庫補助の交付をいただき、令和元(2019)年度には全被災個所の復旧を果たすことができました。担当された役職員の皆様は本当にお疲れさまでした。

道路の新設事業としてはアイランドシティ線(福岡高速6号線)の事業(令和3((2021))年3月開通)や福岡高速3号線の福岡空港延伸部の都市計画決定に向けた検討を進めました。関係した皆様には、関係機関との協議等に大変なご苦労とご尽力をいただきました。

さて今後、都市高速道路に関する制度や体制は変化していくかもしれませんが、都市高速道路の役割の重要性は増加しこそすれ決して減少することはないと思います。福岡・北九州地域の発展のため、福岡北九州高速道路の適切な管理や機能の充実は今後も求められていくと思います。公社そして役職員一人一人に与えられた使命は重大だということを認識し、そのことに誇りと喜びを感じて仕事に取り組んでいただければ幸いです。

公社と公社で働く皆様方の益々のご活躍、ご発展を心よりお祈り申し上げ、公社設立50周年のお祝いいたします。



## 福岡高速道路網図



通称名						計
環状線 〔1号線・2号線の一部 及び5号線〕	香椎線 〔1号線の一部〕	太宰府線 〔2号線の一部〕	空港線 〔3号線〕	粕屋線 〔4号線〕	アイランドシティ線 〔6号線〕	
34.5km	8.3km	6.5km	0.6km 整備中	6.9km	2.5km	59.3km

(令和4年3月31日現在)



千鳥橋JCTから2号線(環状線)博多駅東・3号線(空港線)方面



1号線(香椎線)名島から香椎浜JCT・6号線(アイランドシティ線)方面





1号線(環状線) 百道から天神北方面



1号線(環状線) 石丸から福重JCT・5号線(環状線) 方面



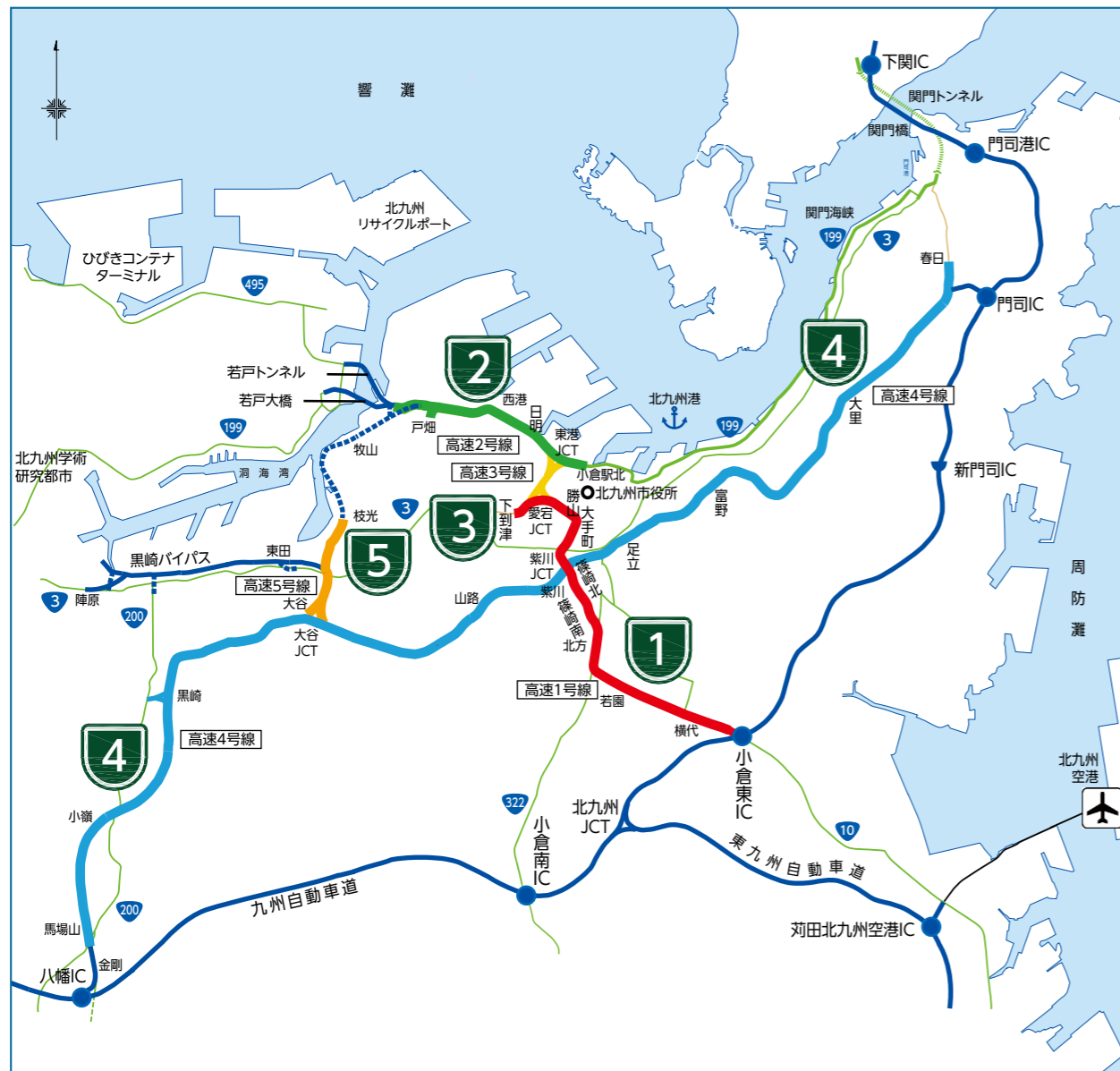
2号線(太宰府線) 太宰府ICから月隈JCT方面



4号線(粕屋線) 福岡ICから貝塚JCT方面



## 北九州高速道路網図



1号線	2号線	3号線	4号線	5号線	計
9.2km	4.3km	1.8km	31.8km	2.4km	49.5km

(令和4年3月31日現在)



1号線北方から紫川JCT・下到津方面



2号線小倉駅北から若戸大橋・3号線・愛宕JCT方面





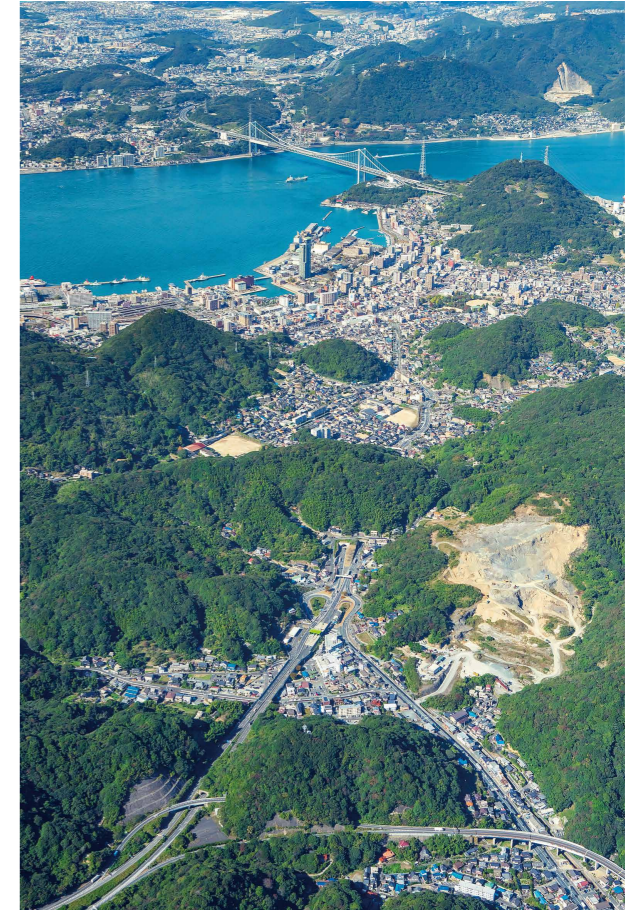
大谷JCTから5号線枝光・黒崎バイパス方面



4号線八幡ICから黒崎方面



1号線北方から小倉東IC方面



4号線春日から門司・関門橋方面



## キャッチコピー

あなたと街に生まれ、あなたと街を繋いでいく。

### キャッチコピーに込められた思い

公社設立より50年、都市高速はお客様や地域の皆様のご理解とご協力をいただきながら育まれてきました。これまでのお客様や地域の皆様方への感謝の気持ちを表すとともに、これからも街と街、人と人、人と街とを繋ぎ、お客様に満足いただける、安全・安心・円滑な質の高い都市高速道路サービスを提供していくことへの決意を表現しています。

令和3(2021)年、公社設立50周年を迎えるにあたり、公社ではお客様や地域の方々に感謝の気持ちを表すためのキャッチコピーを作成しました。作成にあたっては、公社職員からの思いを伝えるべく、全職員からキャッチコピーを募集し、職員投票を経て決定しました。

## 公社イメージキャラクター「クイッキー」



博多どんたくのクイッキー (平成4(1992)年)



わっしょい百万夏まつりのクイッキー (平成4年)

### 愛称名の由来

都市高速道路。その使命は車を通して、人や物を速く、また快適、確実に目的地に到着させることにあります。この「速く」は英語で「クイック」ですが、愛らしく、可愛く、「クイッキー、Quickey」と言う愛称になりました。また、クイックには「敏感に感じ取る」という意味もあり、「クイッキー」の愛称は、未来を感じ取りながら都市交通体系の整備を進めている当社の姿勢に通じています。

公社のイメージキャラクターは「クイッキー」と呼ばれる黄色い鳥です。昭和63(1988)年頃から、公社職員の有志により、おまつりの着ぐるみや山車として鳥のキャラクターが使われるようになりましたが、平成3(1991)年の公社設立20周年を機に正式に公社のイメージキャラクターとして決定しました。

クイッキーのデザインは、それまで複数種類ありましたが、公社職員から募集したデザイン案の中から公社内での投票及び九州造形短期大学田辺幹夫教授による加筆修正により最終作品を決定しました。また、「クイッキー」という愛称名は、一般公募を行い、全国3,482通の応募の中から民間有識者を含めた選定委員会による選考の結果、大上和子さん(ほか13名)の愛称名が選定されました。

## 公社社章



### デザインの由来

下は平面街路、上は高速道路を遠近法により表象しています。

公社設立2年後の昭和48(1973)年11月、公社の社章が決められ、公社の記章や社旗として使用されました。社章は公社職員から募集し、デザイナーの西島伊三雄氏を含む選考委員会による選考を経て決定しました。記章は平成29(2017)年に廃止されましたが、社章は現在も領収証などに使用されています。

## 都市高速ブランドロゴ(新)



### デザインの由来

ブルーは環状になった福岡高速を、グリーンは環状化を目指している北九州高速を表現しています。二つの輪の交わりが、都市高速の頭文字「T」と、TOWNそしてTRANSPORTの頭文字でもある「T」を表しています。またこのマークは角度を左に傾けると「人」。都市のネットワークであるだけでなく、人と人とのつながりも意味しています。



福岡高速ロゴマーク(旧)



北九州高速ロゴマーク(旧)

公社では平成12(2000)年に北九州高速のロゴを、また平成16(2004)年に福岡高速のロゴを作成し、広報などに使用していました。平成24(2012)年、福岡高速環状線全通を機に、「都市高速」をキーワードに統一された新たなシンボルとして、ブランドロゴを作成し、商標登録しました。ブランドロゴは地元福岡で活躍するデザイナー3名によるコンペ方式により、諸石洋一氏によるデザインが採用されました。





福岡北九州高速道路公社 設立(1971.11.1)



福岡事務所 設置(1978.8.30)



福岡事務所 新社屋へ移転(1980.4.13)  
本社 新社屋へ移転(1981.10.12)



福岡高速 初めての開通(1980.10.20)

1号線 香椎～東浜 開通



2号線 初めての開通(1986.4.23)

2号線 千鳥橋JCT～呉服町 開通

1号線 築港～天神北 開通  
(1987.11.6)

福岡高速

公社設立 1971

北九州高速

最初の整備計画決定  
(1972.3.15)

福岡建設事務所 設置  
(1973.4.1)

最初の整備計画決定  
(1972.3.15)



北九州事務所 設置(1973.4.1)

1975



北九州事務所 新社屋へ移転(1980.3.30)

1980

1号線 篠崎北～愛宕JCT 開通  
2号線 東港JCT～日明 開通  
3号線 愛宕JCT～東港JCT 開通



北九州高速 初めての開通(1980.10.20)



1号線 東浜～築港 開通  
(1983.10.6)

1号線 若園～篠崎北 開通  
3号線 東港JCT～東港 開通  
(1983.10.6)

1985

1号線 横代～若園 開通



南部へ延伸(1986.12.2)



※年表は西暦のみを表記しております。





荒津大橋 開通(1988.10.31)  
1号線 天神北～西公園  
2号線 千鳥橋JCT渡り線 開通



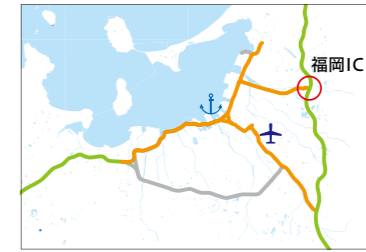
「よかとピア」前の開通(1989.3.4)  
1号線 西公園～百道  
2号線 呉服町～榎田  
3号線 豊JCT～空港通 開通  
※写真出典：財団法人アジア太平洋博覧会協会発行  
「アジア太平洋博覧会-福岡」89公式記録



九州自動車道(太宰府IC)と接続(1999.3.27)  
2号線 月隈～水城  
4号線 貝塚JCT～粕屋 開通



西九州自動車道と接続(1号線)(2001.10.13)  
1号線 百道～福重 開通



九州自動車道(福岡IC)と接続(2002.3.10)  
4号線 粕屋～福岡IC 開通

1990

1号線 愛宕JCT～下津 開通  
3号線 愛宕JCT渡り線 開通  
(1988.12.17)

2号線 日明～戸畑 開通



2号線延伸(1989.8.30)

2号線 戸畑～若戸  
小倉駅北～東港JCT 開通



若戸大橋と接続(1990.3.31)

通行台数1億台を達成  
(1992.4.27)

4号線 春日～馬場山 一体化



九州自動車道(門司IC、八幡IC)と接続(1991.3.31)

1995

1号線 香椎東～香椎 開通  
(1993.4.2)  
2号線 榎田～月隈 開通  
(1994.4.4)

1号線 名島出入口新設  
(1992.4.23)

1号線 香椎東～香椎 開通  
(1993.4.2)  
2号線 榎田～月隈 開通  
(1994.4.4)

4号線 山路出入口新設  
(1995.9.30)



2000

1号線 長野～横代 開通



1号線延伸(2000.7.26)



紫川JCT改良(2000.10.30)

5号線 枝光～大谷JCT 開通



「北九州博」前の開通(2001.7.2)

1号線 都下津線供用により接続  
(2003.7.1)

5号線 板付～野多目 開通  
(2004.6.27)

5号線 月隈JCT～板付 開通  
(2003.5.1)

貝塚JCT(香椎方向) 開通  
(2000.11.21)







ETC導入(2006.4.1)



福大トンネル 開通(2008.4.19)



西九州自動車道と接続(5号線)(2011.2.26)



老朽化・予防保全対策工事 着手(2012.7.10)



環状線 全線開通(2012.7.21)



アイランドシティ線 開通(2021.3.27)

5号線 野多目～堤 開通  
(2006.3.26)

5号線 堤～野芥 開通

5号線 野芥～福重 開通

通行台数10億台を達成  
(2010.10.1)

1～5号線 渡り線 開通

6号線 香椎浜JCT～アイランドシティ開通

3号線(空港線)延伸事業 着手  
(2021.7.14)

公社設立50周年(2021.11.1)

2005

2010

2015

2020

2021 公社設立50周年

4号線 金剛出口新設  
(2005.3.31)

4号線 金剛入口新設  
(2006.3.4)

5号線 東田出入口新設  
(2010.12.15)

通行台数10億台を達成  
(2017.7.12)

1～3号線 大規模修繕着手  
(2022.4.1)

1号線 小倉東ICと接続



九州自動車道(小倉東IC)と接続(2006.2.26)



ETC導入(2008.11.1)

建設から30年以上経過した4号線を補修・補強



4号線 大規模補修工事 完了(2009.3.31)

2号線 新若戸道路(若戸トンネル)  
供用により接続



若戸トンネルと接続(2012.9.15)

5号線 国道3号黒崎バイパスと接続



黒崎バイパスと接続(2012.9.30)

豪雨により10箇所の土砂災害発生



平成30年7月豪雨災害(2018.7.6)





# トシコー フォトコンテスト

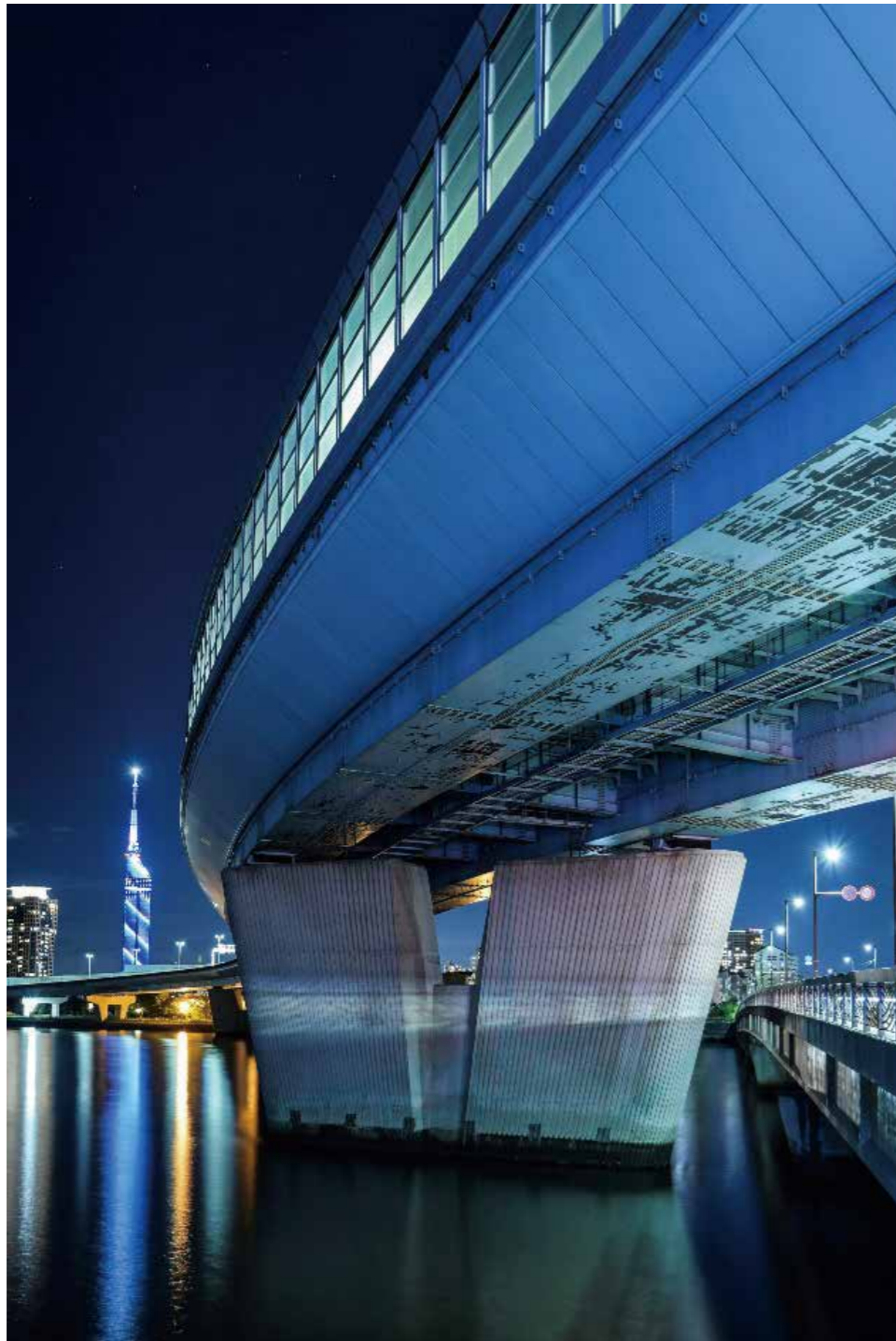
《50周年記念イベント(福岡高速)》

50周年記念イベント

Instagramにてご応募していただくフォトコンテストを開催しました。  
819件の応募をいただき、厳選な審査により全16点の受賞作品を決定  
しました。併せて、表彰式や展示会を開催しました。

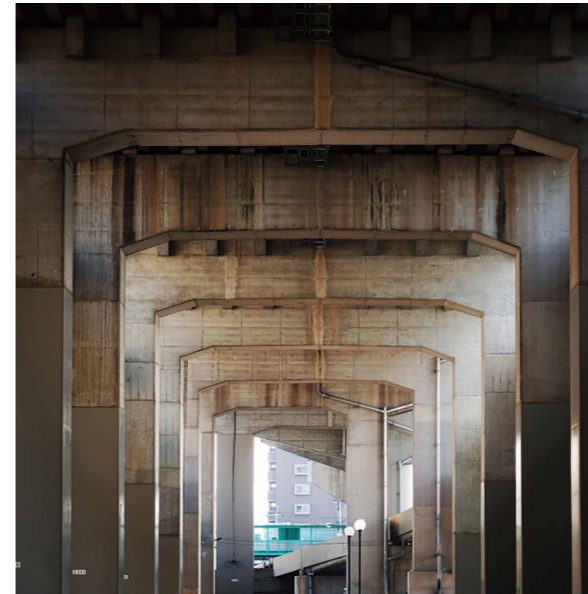
審査員長：  
進藤 環 (九州産業大学芸術学部准教授)  
審査員：  
檜山 芳紀 (福岡商工会議所産業振興部長)  
松永 昭吾 (デミーとマツ共同代表)  
喜安 和秀 (公社理事長)

グランプリ koike\_\_8さま

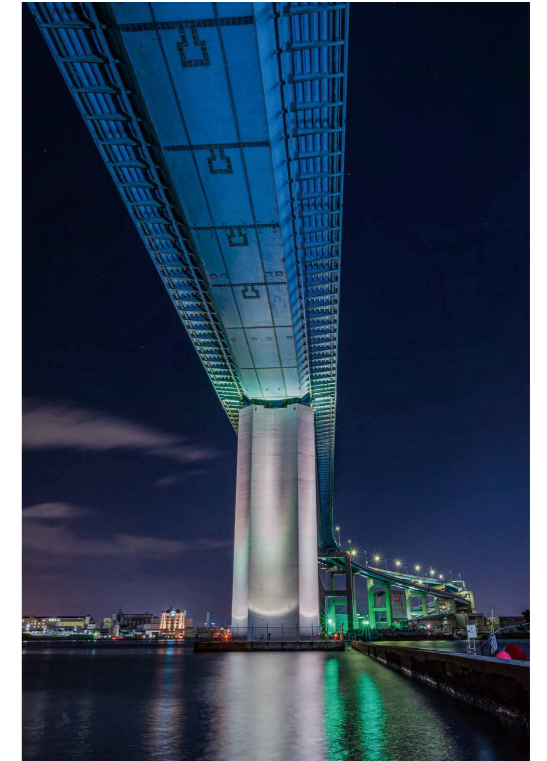


準グランプリ

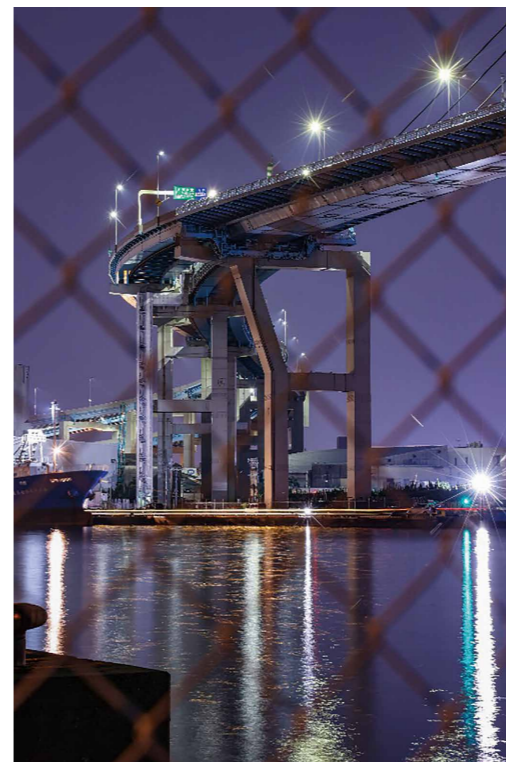
九州産業大学賞 河村 尚雅さま



福北公社賞 wacky\_821さま



デミーとマツ賞 namamma16さま



福岡商工会議所賞 澤田 武志さま





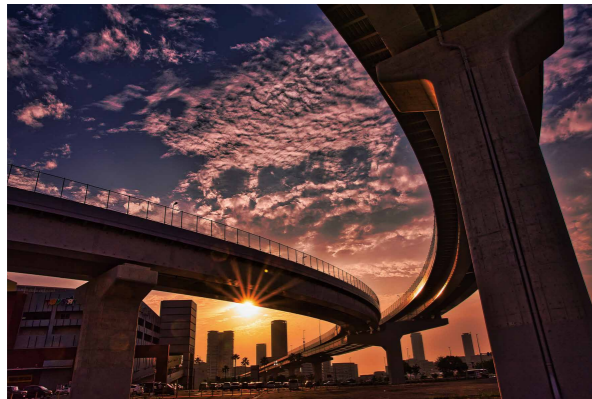
# トシコー フォトコンテスト

《50周年記念イベント(福岡高速)》

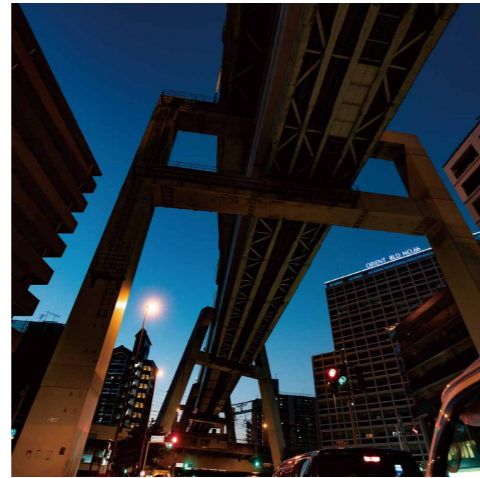
50周年記念イベント

## 入賞

曲線美賞 木下 航平さま



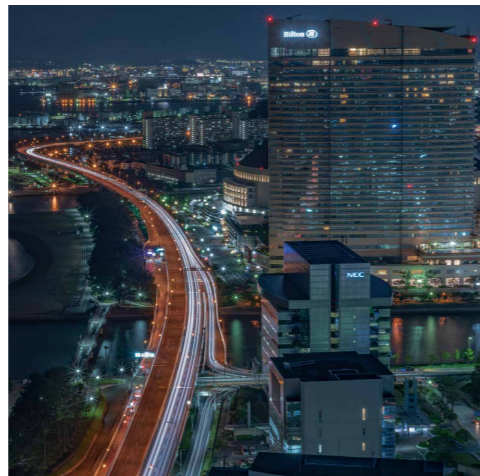
直線美賞 山本 正和さま



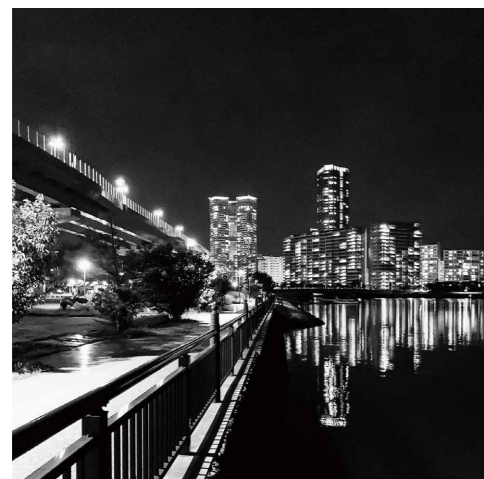
ジャンクション賞 松島 明音さま



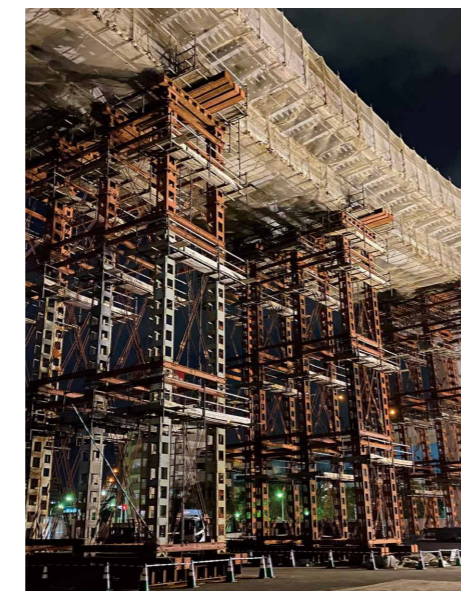
夜景賞 定直 清哲さま



街とトシコー賞 木下 史雄さま



コンストラクション賞 大神 晴美さま

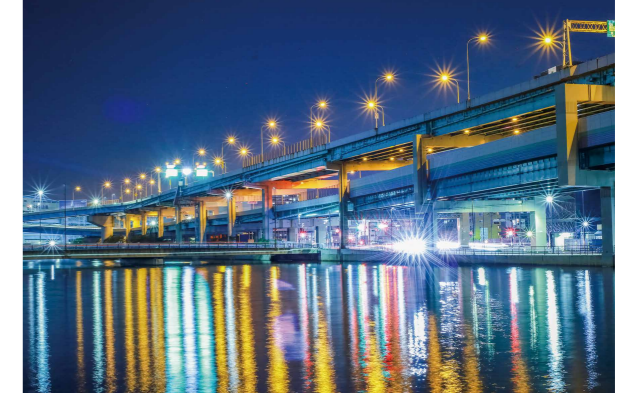


## 入賞

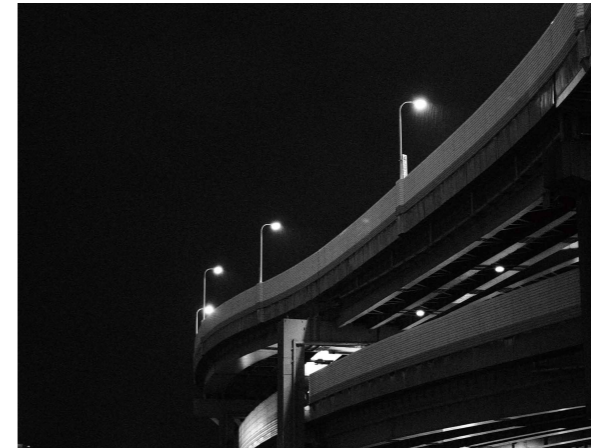
タケさま



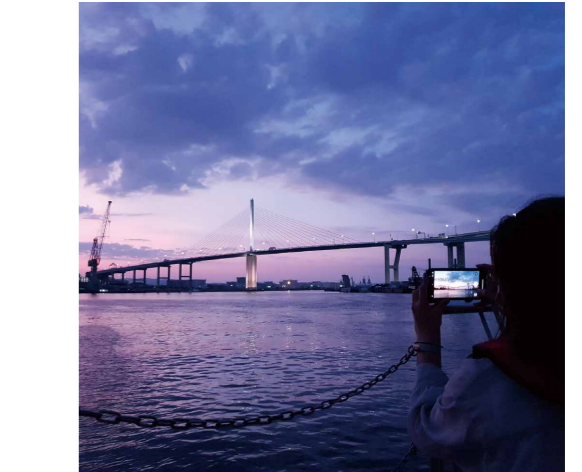
rate1\_129さま



町浦 歩夢さま



三島 啓吾さま



鶴木 和博さま



表彰式 令和3年10月25日(月) アクロス福岡にて



@永田 海将

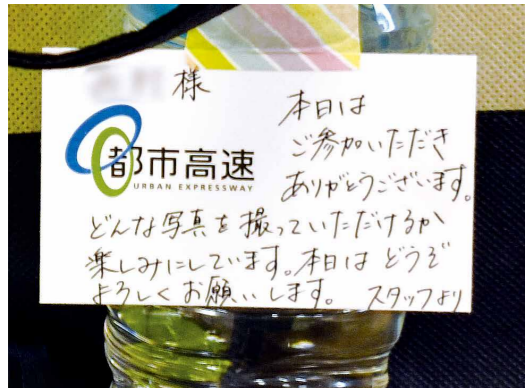


# 都市高速(トシコー)潜入撮影会 !!

《50周年記念イベント(福岡高速)》

九州産業大学の先生や写真専攻の学生の方にロケハンや参加者への技術指導などのご協力をいただき、普段立ち入れない場所(非常階段、船上等)での撮影会を開催しました。抽選で選ばれた参加者の方に都市高速の魅力を再発見していただきました。

令和3年9月18日(土)～20日(月)、23日(木)  
 ①月隈ジャンクション エリア  
 ②アイランドシティ エリア  
 ③荒津大橋 エリア  
 ④千鳥橋ジャンクション エリア  
 参加者数：24名



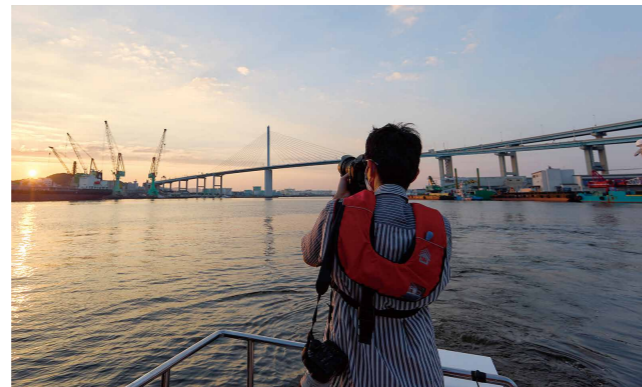
ウェルカムメッセージ



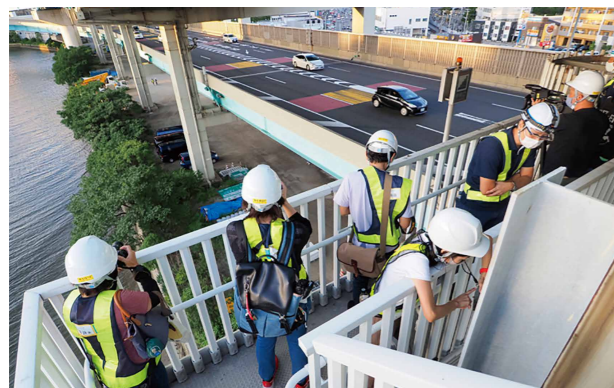
御笠川の河川敷より(月隈ジャンクションエリア)



街路より(アイランドシティエリア)



港湾業務艇「なじま」(九州地方整備局所有)より(荒津大橋エリア)



非常階段より(千鳥橋ジャンクションエリア)



「なじま」の前で

## 参加者コメント

- 福岡高速は沢山の人に支えられているなと実感しました!
- これからも安全安心な道路を作ってください。応援しています。
- 荒津大橋と大型クレーンのシルエットに明日へと延びる未来を感じました。

# 都市高速(トシコー)マイスターになろう

～橋のお医者さんって何するの?～

《50周年記念イベント(北九州高速)》

50周年記念イベント

抽選で選ばれた親子に、都市高速についての講義や橋梁点検、実際の材料を使用した補修作業など本物志向の体験をととして、都市高速の役割や老朽化の状況、維持管理の大切さを学んでいただきました。

令和3年10月30日(土)  
 場所：北九州事務所敷地内  
 参加者数：8組(16名)



都市高速の維持補修に関する講義



作業前の相互確認



橋梁の桁内点検



コンクリート補修作業



都市高速マイスターの任命



点検した橋梁の前で

## 参加者コメント

- こんなふうを守られている事を知り、たくさん都市高速を使おうと思います。
- 『世界は誰かの仕事から出来ている』という言葉を、こんなに実感できるなんて!
- 都市高速の仕事を知り、僕も将来このような仕事に関わってみたいと思いました。



## 目次

ご挨拶	50周年を迎えて（理事長 喜安 和秀）
寄稿	50周年を祝って－公社在職時のこと－（前理事長 山中 義之）
巻頭	現在の福岡高速道路／北九州高速道路 公社のシンボル 福岡北九州高速道路公社50年のあゆみ 50周年記念イベント

<b>第1章</b>	<b>福岡北九州高速道路公社の概要</b>	
第1節	公社設立の経緯	2
第2節	公社の目的と業務	5
第3節	組織と人員	6
	〈コラム〉社屋の変遷について	13
<b>第2章</b>	<b>都市高速道路の計画</b>	
第1節	都市高速道路に係る計画	16
第2節	都市計画	17
第3節	整備計画	28
<b>第3章</b>	<b>福岡高速道路建設の沿革</b>	
第1節	最初の開通と延伸（1次～7次供用）	40
第2節	九州道、西九州道との接続（8次～12次供用）	56
第3節	5号線の新設と環状化（13次～18次供用）	68
	〈コラム〉アジアハイウェイ	76
	〈コラム〉高速道路の通称名と色彩	77
第4節	6号線（アイランドシティ線）の新設（19次供用）	78
	〈コラム〉6号線における新たな景観の創出	93
	〈コラム〉6号線工事における苦労話～6号線分合流部の既設橋梁補強など～	95
	〈コラム〉福岡高速6号線（アイランドシティ線）開通式典	97
第5節	3号線（空港線）の延伸	98
<b>第4章</b>	<b>北九州高速道路建設の沿革</b>	
第1節	最初の開通と延伸（1次～6次供用）	106
第2節	4号線の一体化と改良（7次供用）	116
第3節	1号線の延伸と小倉東IC接続（8次、10次供用）	120
第4節	5号線の新設（9次供用）	122
第5節	北九州高速アクセスの向上	125
<b>第5章</b>	<b>道路構造物・施設の保全</b>	
第1節	道路構造物の保全の概要	130
第2節	道路構造物の維持管理	133
	〈コラム〉福北チャレンジ	138
	〈コラム〉職員による都市高速橋守活動	139
	〈コラム〉PCB廃棄物の処理完了	140
第3節	耐震補強	141
第4節	老朽化対策	145
第5節	道路施設の維持管理	154
	〈コラム〉交通管理用無線がアナログからデジタルへ移行	163
第6節	新技術の活用と相互協力	164

<b>第6章</b>	<b>管理の沿革</b>	
第1節	料金の概要と沿革	168
第2節	交通管理管制業務	179
	〈コラム〉天皇皇后両陛下の行幸啓と皇太子同妃殿下の行啓	182
	〈コラム〉G20財務大臣・中央銀行総裁会議の開催	183
第3節	営業管理業務	184
	〈コラム〉福岡高速ETCカード未挿入お知らせアンテナ増設	190
	〈コラム〉若戸大橋・若戸トンネル無料化による合併収受終了	191
第4節	道路管理業務	192
<b>第7章</b>	<b>お客様サービス向上への取り組み</b>	
第1節	事故・渋滞対策	198
	〈コラム〉粕屋線の一部区間における規制速度の変更	208
	〈コラム〉福岡西料金所ETCレーン増設	209
第2節	道路情報の提供	210
第3節	お客様との対話	212
	〈コラム〉北九州高速10億台達成イベント	222
	〈コラム〉土木の日ファミリーフェスタ	223
	〈コラム〉50周年記念イベント	224
<b>第8章</b>	<b>危機管理・災害対応</b>	
第1節	危機管理	228
第2節	災害への対応	234
	〈コラム〉熊本地震の発生による通行止めと初動対応	243
	〈コラム〉通行止めの早期実施による被害の未然防止（平成30年7月豪雨）	244
	〈コラム〉台風による標識柱倒壊に伴う緊急点検～技術系職員総出で対応～	245
第3節	新型コロナウイルス感染症への対応	246
<b>第9章</b>	<b>コンプライアンス確立と現場の安全管理に向けた取り組み</b>	
第1節	コンプライアンス確立に向けた取り組み	252
第2節	現場の安全管理	256
第3節	料金収受員の飲酒事案への対応	259
<b>第10章</b>	<b>経営状況</b>	
第1節	財務状況	264
第2節	予算	268
第3節	資金	270
第4節	入札・契約制度	277
第5節	業務IT化の取り組み	281
第6節	監査制度	283
<b>第11章</b>	<b>課題と今後の方向</b>	
第1節	交通の課題と今後の方向	286
第2節	維持管理の課題と今後の方向	291
第3節	経営の課題と今後の方向	294
<b>資料編</b>		295
	あとがき	



## 凡 例

1. 「福岡北九州高速道路公社50年史」は、以下のように構成している。
  - I 挨拶、寄稿、巻頭
  - II 本編(11章)
  - III 資料編(19項目)※本編各章において、当時の活動を紹介する「コラム」を配置している。
2. 構成にあたり、先に刊行した年史の内容を整理するとともに、「40年史」刊行以降の約10年間の取り組みを新たに執筆し、設立からの50年のあゆみ全体を把握できるように配慮した。
3. 記述は令和4(2022)年3月31日現在まで、統計データは令和2(2020)年度までを原則とした。
4. 用字用語は、原則として常用漢字、現代かなづかいとしたが、引用文、固有名詞や専門用語などはこの限りではない。通常用いられるジャンクション、インターチェンジなどは原則「JCT」、「IC」などと記述した。
5. 人名は敬称を省略した。また、役職名は原則として当時の役職名とした。
6. 組織・機関名、地名などは原則としてその当時の名称で記述し、必要に応じ現在の名称を( )書きで付け加えた。
7. 組織・機関名などで略称が一般的なものについては略称も用いた。「福岡北九州高速道路公社」は必要な場合を除き「公社」と略称した。
8. 高速自動車国道などの路線名については略称も用いた。福岡・北九州高速道路の路線名については、都市計画の名称を除き、原則として現在の基本計画の路線名を用いた。なお、前後の記述から高速名が自明な場合は号線名のみ略称も用いた。  
例)「福岡高速1号愛宕福重線」→「福岡高速1号線」または「1号線」
9. 年号は和暦(元号)年で西暦を( )書きで併記した。ただし、同各小節内2回目以降は和暦のみを表記、図・表・引用分内は原文のまま用いている。